



第63回全国消防技術者会議の開催について

消防研究センター

消防研究センターでは、「第63回全国消防技術者会議」として、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第19回消防防災研究講演会」および消防関係者による一般発表と平成27年度消防防災科学技術賞受賞者

による発表を下記のとおり開催いたします。また、「消防防災科学技術賞」の表彰式および展示発表も行いますので、併せてご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

1	開催日	第1日 平成27年11月25日(水) 第2日 平成27年11月26日(木)
2	場所	ニッショーホール(日本消防会館) 東京都港区虎ノ門2-9-16
3	定員	両日とも各600人(参加無料)
4	内容	<p>【11月25日(水)】第19回消防防災研究講演会 「木造密集地域での火災と安全への備え」</p> <p>木造密集地域では、もともと避難や消火活動の支障要因が多いのに加え、火災発生時には建物間の延焼拡大も速く広域の市街地火災になり人的・物的被害が大きくなる可能性が高くなります。また、震災後には建物倒壊等による出火のリスクも高まります。阪神淡路大震災(1995年)での神戸市内の旧市街地での火災を始め、最近においても、城崎温泉街(2014年)、北九州市の木造市場(魚町商店街2014年、あやどり市場2012年、富野市場2011年)、尼崎市塚口中央市場(2011年)、などで延焼火災が発生しています。</p> <p>木造密集地域の火災安全対策を考える上では、木造建物火災の出火・拡大機構の解明、建物間の延焼から市街地火災に至る延焼拡大予測、広域市街地火災で発生が懸念される火災旋風等、特殊な事象の理解が必要です。また、実際に起きた市街地火災時の消防活動やその後の対策事例について情報を共有することは、消防機関が木造密集地域での火災の予防、警防等の備えを検討する上で非常に有意義です。</p> <p>本講演会では、平時と震災時での出火原因等の特徴、出火したときの木造建物の火災性状、実際に延焼拡大した火災の事例と消防本部のその火災への対応、市街地火災の延焼シミュレーションによる被害予測、火災が拡大し被害を増大させる火災現象としての火災旋風等に関する情報を提供し討論を行います。</p> <p>【11月26日(木)】 消防関係者による一般発表と平成27年度消防防災科学技術賞表彰作品の発表を行います。</p>
5	プログラム	消防研究センターのホームページ(http://nrifd.fdma.go.jp/)をご覧ください。「イベント情報」欄の「【技術】第63回全国消防技術者会議」のリンクをクリック)。逐次詳細なものに更新します。
6	参加申込み方法	消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。 なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。
7	参加申込み期間	8月17日(月)から11月16日(月)まで(予定) (但し、各日定員になり次第締め切ります。)
8	問い合わせ先	消防庁 消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL:0422-44-8331 FAX:0422-44-8440 E-mail: 63_gijutsusha@fri.go.jp